

楽しい酒田祭

5年1組 田中海莉愛

私の住む町には、酒田祭というのがあります。酒田祭は屋台も多くとても楽しく、お腹いっぱいになります。他にもなぜ人がいっぱいになるのでしょうか。

1つ目は、イベントについてです。酒田祭には、他にもありますが、酒田散歩、獅子頭と山車市内中部を歩くイベントがあります。今年は、最も多くの人々が楽しめるイベントがありました。それはミッキーのパレードです。ミッキーのパレードでは、デイジー、もちろんデイジーだけではなくミッキーにでてくる様々なキャラが来ました。

2つ目は、酒田祭の歴史に、ついてです。酒田祭は1069年前（今から40年以上）からあります。他に、調べたところ今年で415年だそうです。それでもまだまだ続けられています。私はとてもまだまだ続けられていて、すごいと思います。

3つ目は人についてです。酒田祭は、とても人が来ます。なぜかというとし内26団体約2000人も、来ます。だから酒田祭はとても人気です。他にも、外国、他の国から来る人もたくさんいるそうです。それに小さい子から、お年寄りまで楽しめます。

そんなたくさん人が来る酒田祭は、とてもすごいですね。

いいなと思った人は、ぜひ行ってみてください。



山形県のメロン 5年1組 池田昂太



僕の住む市は、果物などが有名です。その中でも特に有名なメロンを調べました。そしたらたくさんのメロンについての魅力がありました。

1つ目メロンの生産量 山形県の、メロンの生産量は、全国で第4位です。そして生産れている山形県の地域では、主に遊佐町、鶴岡市、酒田市が特に有名です。

2つ目メロンの歴史、山形県でのメロンの生産は、大正7年（1918）年から栽培が始まりました。そしてそこから年月が経ち、昭和42年（1967）から生産される地域が上がったのです。栽培された地域が上がったのは、理由があります。

理由は、庄内砂丘メロンが売れて次の商品プリンスメロンというメロンが作られてそのプリンスメロンが大評価せれ栽培地域が広がった、という理由があります。そしてプリンスメロンが大評価

された理由は、他にもあり、プリンスメロンが作られている場所は、庄内



砂丘なんです。庄内砂丘では、日当たりもよくメロンが水分を吸収してしまうため庄内砂丘等の乾いたところが選ばれました。（水分を取りすぎてしまうと味が薄くなってしまうため）

そして他にも庄内砂丘の土や日当たりなどが良かったなどなど理由がたくさんある。

このように酒田のメロンは、とても美味しいので今度ぜひ皆さんも食べてみてください。



出典

山形ホームページ

長く続く地区運動会

5年 1組 佐藤好華

私の住む街には、65年以上前から続く地区運動会があります。地域の人との関わりがなくなるなか、地区運動会があることで人と人との関わりが良くなるのはなぜなのでしょう。その理由は、三つあります。

一つ目は、長い歴史です。

今は地区運動会という名前ですが、昔は市民体育祭という名前でやっていました。市民体育祭では、選手を集め十坂代表としてでていました。それも小学生だけではなく、中学生や大人も集まってやっていました。その頃は、十坂は七連覇をしたことがあるそうです。昔は十坂が強かったんだと思いました。

二つ目は、来る人です。

卒業した中学生や大人、お年寄りの方、役員の人たちも来るということです。他にも、九つの地区が来ていろいろなことで戦います。幅広い年齢の人が来ると分かりました。

三つ目は、競技です。

大人から子供まで来るのでいろいろな競技があります。親子でやる競技や大人だけのリレーなどあります。特に親子競技は、低学年、中学年、高学年に分けられていて、学年ごとにやる競技が違います。私は、大人だけでやる競技があんだと思いました。

地域の人との関係を深めるために地区運動会があると人と人との関係を深められるような気がします。地区運動会は魅力がいっぱいあるんだなと思いました。ぜひ参加してみてください。



私の住む酒田の川南の地域では、メロンと柿が有名です。その2つのことについてなぜ川南のところではメロンと柿が有名なのか説明します。

1つ目はメロンです。十坂学区から黒森に向かう道路や庄内空港にはメロンのモニュメントがあります。この日本海沿岸でさいばいされたメロンは庄内砂丘メロンと



呼ばれているそうです。庄内砂丘は、メロンのさいばいにとっても環境がよく甘味の強いメロンとして、全国的に高い評価を持っているそうです。

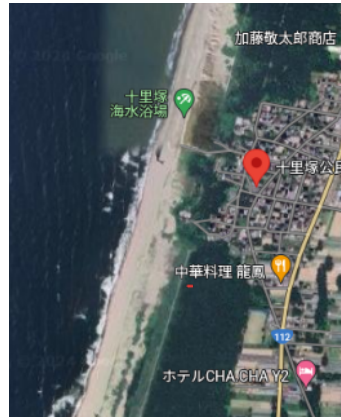
2つ目は柿です。学校へ向かう時によく柿畑を見かけます。甘味がたっぷりで風味も良く、10月頃から収穫が始まります。庄内柿は庄内で取れる柿のブランド名で代表的な品種は「平種無（ひらたねなし）」という四角い種無し柿です。



このようにメロンや柿は有名で他にも人気な物もたくさんありますが、ぜひ皆さんもメロンや柿を食べてみてください。

十里塚の黒松

高橋真子



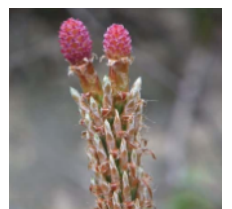
十里塚には、昔から海の近くには、黒松があります。なぜ黒松が海の近くにあるのかというと昔は、海の近くに松はなく、もし強風がきたときは、強風で飛ばされた大量の砂が町にいくことがありその砂をこさせないようにするため松を植えました。そして、いつ黒松だということが明らかになったのかというと270万年前だそうです。私だったら松を植えるという考えは、思いつかなかったと思います。そんな松について3つのことを説明します。

1つ目は、松の塩の害についてです。もし普通の木を植えてしまうと海の塩で枯れてしまいますが黒松は、塩の害に強いので枯れません。

2つ目は、何百年も生きることです。黒松は、何百年も生きるので、40mをこえることもあるそうです。

3つ目は、黒松の葉や花についてです。松の葉は、細長いです。黒松の葉が細長いのは、理由があり、葉は強風に逆らわず風を弱めると飛砂を地面に落とせるそうです。葉の長さは、10～15センチになるそうです。黒松の花は大体大きさ6mmになるそうです。色は、黄色系やピンク色だそうです。私は、松に今まで花があると知らなかったのでびっくりしました。

皆さんは、黒松の役割を知っていましたか？黒松は、いろいろな役割がありみんなを守っていることがわかりました。ぜひ皆さん実際に見てみてください。



十坂学区のはえぬきの魅力

5年1組 早坂朱織

私の住む十坂学区にはいろんな種類の米があります。その中でもはえぬきの三つの魅力についてしょうかいしたいと思います。

一つ目は米の歴史について紹介します。インドのアッサム地方の人たちが稲のさいばいをはじめ、西南アジア、西アジア、アフリカ広まって、中国に伝わったのが五千年ほど前だと言われています。日本には縄文時代の終わりに中国から二千年前に海をわたってきたお米、はえぬきは米どころ山形県で生まれ育ったブランド米、山形県庄内平野の山形県農業試験庄内市場で、「庄内二十九号」と「あきたこまち」をかけあわせて十年の歳月をかけかい発明され千九百九十二年登録されたお米です。お米がいつできたのかも分かると面白そうです。

二つ目ははえぬきの魅力についてしょうかいします。お米の粒がしっかりしていて心地よい歯ごたえがあり、ふっくらとしていてほぐれやすく、ほどよいま味と甘味が魅力です。あるすいはんとくせい検査において、味、香り、外観、食感、ねばりなどのすべての項目において評価が高い結果になっています。はえぬきの魅力が分かるとさらに美味しく食べれそうです。



三つ目ははえぬきの名前の意味を紹介します。名前の意味は「その土地で生まれて、その土地で成長すること」という意味で豊かな自然の中で生まれ育ったオリジナルのお米が大きく成長し続けることを願ってなったそうです。名前の意味も知ることができてもっと面白そうです。

家でいつも食べているはえぬきのお米調べてみるとはえぬきの歴史、はえぬきの魅力、名前の意味が分かってもっとお米を美味しく食べられる気がします。はえぬきは美味しい魅力だけでなく、歴史や名前の意味魅力だと思います。ぜひ、みなさんもはえぬきを食べてみてください。

美味しいたくさん十坂の農業

5年1組 塚形 蓮介

ぼくの住む町は砂丘に位置しています。そのため砂丘を生かした農業が行われています。

ぼくの家では農業をやっていますが、ふだんはあまり深く考えあないです。ですが、調べてみたら新しい事がたくさん発見できました。

1つ目は生産物です。

地域の特徴的な生産物は、あさつきかき、いちご、スイカそして砂丘メロンなどです。

そして生産物には美味しさだけでなく農家さんの気持ちがたくさんついていると思います。

2つ目は買いやすさです。

上の生産物は地元のスーパーなどや直売所。

それと一部の地域のスーパーなどで販売されています。

地元に来れなくても、近くのスーパーなどでも買えるかもしれません。

3つ目は品種の量です。

特徴的な生産物は1つ目で紹介したとうりですが、その中にも色々な品種があります。例えば糖度が13の「アンデスメロン」や糖度が14の「パンナメロン」。それ以上だと「あまえんぼう」という品種となります。自分の好みを見つけてみてください。

このように僕の住む十坂にはたくさんの作物があります。

2つ目で上げたように近くのスーパーなどでも買えるかもしれないと書きましたが、直売所などではもっと新鮮なものが食べられるかもしれません。

それにここで紹介したものは1部です。他にもたくさんの作物などがあります。

ぜひ来てみてください。



糖度…甘さの単位1度変わるだけで甘さもけっこう変わる

踊るといろいろないいことがある大黒舞

5年1組 佐藤綾香

私の住む地域では、毎年大黒舞をしています。大黒舞は、天保（1841年）から始まって、今では伝統芸能になっています。そのことで大黒舞をすることで、どういったいろいろなことを得られるか学んでみませんか。

1つ目は、大黒舞のことについてです。大黒舞をすることで、裕福になれる。それに農作が進むので食べ物がたくさん取れると思います。新年をお祝いすることもあります。最初に始めた方は三世桜田治助さんです。一番最初に始めるのは、勇気がいるのだすごいです。



2つ目は、大黒舞の音楽のことです。大黒舞で使う楽器は、三味線、太鼓、鈴です。その楽器に合わせて歌を踊ります。

三味線などの楽器は、音程を取るのが難しいのだすごいです。



3つ目は、大黒舞の衣装についてです。衣装は金などの輝いた色の衣装で、頭巾をかぶり宝うちを振ります。大黒舞の衣装には、いろいろな色があって、色豊かだと思います。

このように大黒舞を踊ることで、いろいろないいことがあります。なので、新年をお祝いするときや農作があまり取れないときなどに踊ってみてください。

僕の住む街の魅力

5年1組 天野叶翔

僕が住む街は食文化として根付いており寄港地として庄内米の品質や保管状況の良好さがあったされます。



1つ目は北前船の利用です。

北前船を利用して大阪から酒、油、衣類品、あわ粉、塩、紙など仕入れています。

庄内地域の魅力は、東に月山、湯殿山、羽黒山からなる修験の聖地出羽三山があり色々神社回りをできるからです。

古来より、鳥海山、出羽三山は山岳修験の聖地としてにぎわうとともに、死後も衆生救済に尽くすことを願った即身仏が多く奉られており、その数は都道府県別でも日本一となっています。

江戸時代には最上川舟運の発展により内陸の物資が酒田から上方、江戸へ「西廻り航路」で、運ばれ、酒田は経済や文化の交流の舞台となり、日本一の大地主「本間家」廻船問屋「旧燈屋」、「山居倉庫」、など住時の文化や栄華を今日に伝えています。

2つ目は、温泉のことです。

湯野浜温泉、あつみ温泉、湯田川温泉は、いずれも開湯1,000年を超える温泉で、古来より湯治場としてにぎわっており、特に湯野浜温泉は、上山温泉、福島の東山温泉とともに奥羽山楽郷に数えられています。

色々な所を回り楽しんで見てください。

十坂地区のクロマツ

5年1組 阿部 寿音

十坂地区には、いろいろな場所にクロマツがはえています。私は、通学路や友達と遊んでいるときもよく見かけます。そんなクロマツにはどんな魅力があるか紹介したいと思います。

クロマツの特徴は、若いうちは円錐形、大きくなると樹冠が広がり傘型になる木で、高さ30～40メートル位で葉は細長く、長さ10～15センチです。何百年も生きるものもあります。葉が細長くて、特徴的だと思いました。



そして、クロマツは乾燥や潮風に強いいため、海の近くに植えられていて、海から砂が飛んでくることを防ぐ砂防林として使用されています。普通の木だと海の塩で枯れてしまうため、乾燥や潮風に強いクロマツは凄いと思いました。

海に限らずはえていて、十坂小の周りにもありました。特に、十里塚や通学路で多く見かけます。十里塚以外の地域でも見かけるので、すぐにみつけることができて親しみやすい木だと思いました。

このように、クロマツには砂から守ってくれる砂防林の役割や、いろいろな特徴があります。皆さんも、クロマツを見に行ってみてください。

ぼくの住む街には、昭和から約65年の長い間続く十坂学区民運動会があります。自分の地区のひとが協力したりすることで地区の人との関係が深まります。みんなが楽しく地区運動会をできるのはなぜでしょうか。その理由は、三つの魅力にありました。

一つ目は、子供から大人まで楽しめることです。学区民運動会は、こども園のおゆうぎや親子で協力して楽しめる親子競技があります。小学生と大人で協力して競技をするのも十坂学区民運動会の魅力です。



二つ目は、市民体育祭のことです。酒田市は、運動さかんで、市民体育祭で、チームをつくりいろいろな小学校があつまる大会で過去には6~7連勝もしました。ぼくは、いろいろな小学校があつまる大会で6~7連勝もしていてすごいと思いました。



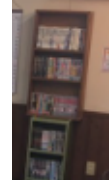
三つ目は、種目や競技のことです。十坂学区民運動会は、9つの競技があり、小学生の徒競走では、学年1位にはメダルがもらえます。それに、親子競技は3つあり、低・中・高の学年に分かれて競技をします。一般メドレーリレーもあり、地区の人たちが応援をするのでとても盛り上がれます。みんなが応援するので、負けても勝っても嬉しい気持ちになると思います。



自分では十坂学区民運動会のことをよく知っていると思っていたけど、いろいろな人に聞いて調べることで十坂学区民運動会の良さを深く知れたので良かったと思います。十坂学区民運動会は長く続く行事という良さだけでなくみんなが楽しめるということも魅力だと思います。みなさんもぜひ足を運んでみてください。

ぼくの住む町には、麺太というおいしいラーメン屋さんがあります。4、5月ぐらい麺太に行ったら、すごく混んでいました。なぜこんなに混んの理由は、3つの魅力にあります。

1つ目は見た目です。



評価は

3.8、ざしきも

あるしカウンター席もあるしテーブル席もある、見た目もキレイ、チラシが貼ってある、本だなに漫画がある、見た目に、人気があるなんてすごいですね。

2つめは店員さんです。店員さんの感じがいい、店員さんがいつも優しい、ラーメンがすぐ出てくる、混んでいてもかいてんが速いです。

元気に店員さんがいらっしゃいませと言ってとってくれる、帰るときはありがとうございました。口コミにも要望を細かく聞いてくれるなど親切な様子を書いてありました。店員さんもみんなから、すごいとされているんだとおもいました。

3つ目はラーメンです。味がブレないからいつもおいしいし、太めん細めんをえらべるので、自分の好みにできます。僕は醤油ラーメンがおすすめです。チャーシューがとてもおいしいです。メンマもおいしいです。僕は中盛りを食べます。

このように麺太には美味しく、いいところがたくさんあるので、ぜひいってみてください。

昔からある地区運動会

5年1組柿崎亜美

私の住む地区では昭和からある地区運動会があります。なぜ昭和から長い歴史を待っているのでしょうか。その理由は、地区運動会が持つ3つの魅力にありました。

1つ目は、様々な種目があることです。種目の数は8つです。親子ふれあい競争では学年によってするのが違うので親子で協力して楽しくできるからです。

2つ目は、小さい子からお年寄りまで楽しめることです。小さい子はヨーイドンなど走るのがあります。お年寄りなどはテントなどで休めるからです。テントなどで休めるのでとても嬉しいです。なので雨が降っても大丈夫です。ヨーイドンなどは小さい子が走るのを見てみると、とてもかわいいです。

3つ目は、ラジオ体操などがあることです。ラジオ体操があることで怪我をせずに安全にできます。みんなでやるとすごく楽しいです。その他に園児のお遊戯などもなともあるからです。いつもやっている行事でも調べて見たら知らないことがわかってよかったです。来てみると、とてもにぎやかで楽しい地区運動会です。皆さんぜひ来て見てください。



柿の美味しさ

5年1組 佐藤愛奈

十坂では柿が有名です。柿ができたのは約170万年以前にできました。柿の良さは「カロチン」や「ビタミンC」がとても良いからです。柿が甘いのはタンニンがあるからです。タンニンはポリフェノールでインフルエンザやノロウイルス、0-157





庄内砂丘メロンについて

5年1組 高橋陽菜実

庄内砂丘メロン作りは、1918年(大正7年)から始まっており、長い歴史を持っています。その庄内砂丘のメロンが美味しい理由は3つありました。

1つ目は、庄内砂丘が関係しています。

庄内砂丘は、約8000年前に作られました。川からの砂と海面の移動で南北に約35km伸びる広大な日本有数の砂丘です。長い間飛砂に悩まされていましたが、黒松の植林により砂防林が形成されたことや、地下水を利用した畑の形成が進んだことにより、様々な農作物が栽培されるようになりました。その中でも特にメロンが有名です。



2つ目は、なぜ庄内砂丘メロンは美味しいのかです。

なぜ美味しいのかというと、温度、土、水が関係しています。その理由を1つずつ紹介していきます。

温度は、昼夜の寒暖差が大きいからです。昼間は、強い日差しと暑い西風のためです。夜間は、涼風に変わり気温が下がるためです。更に砂地のため、熱し易く冷め易いという特徴があり、この温度差によって、網目の張りが良く、糖度の高いメロンになります。

土は、砂地で水はけが良くなっている為です。メロンは温度に弱いので、水はけの良い土壌が適しています。砂地は水はけが良く、水分をコントロールしやすいメリットがあり、これによりみずみずしく甘みの強いメロンになります。

水は、良質な地下水となっている為です。庄内地方は、東に月山、北に鳥海山、南に朝日山地と三方を山に囲まれており、これらの雪解け水が良質な地下水となっています。この地下水で育てられたメロンは、ジューシーで香り高く、品質の良いメロンになります。

3つ目は、メロンの時期です。暖かくなってくる3～4月に植え、栽培期間は、40～50日という長い日をかけて作ります。最盛期は7～8月の夏です。



庄内砂丘メロンの歴史、メロンを育てるための大変な作業、時期によるいろいろな作業、とてもすごいと思います。調べてみていろいろなことがわかりました。庄内砂丘メロンはとても美味しいので、皆さんも是非食べてみてください。

米のみりよく

5年1組 難波琢磨

僕の住む街は米づくりが盛んです。僕がこれから言うのは三つあります。

まず1つ目は種類です。僕の街には米の種類が5つあります。雪若丸、つや姫、はえぬき、コシヒカリ、ひとめぼれの5つです。

2つ目は特徴です。まず雪若丸です、雪若丸は粒立ちが良く大きくしっかりした粒感が特徴です2つ目はつや姫です。つや姫の特徴は倒状しにくい山形県の品種です、米粒比は長いのが特徴です。3つ目ははえぬきですはえぬきはコシヒカリのような粘りの強さとササニシキのようなあっさりした食感が特徴です。4つ目はひとめぼれです、ひとめぼれは甘味、粘り、口当たりのバランスが絶妙なのが特徴です5つ目はコシヒカリですコシヒカリの特徴はお米特有の甘みと粘り気が強く、香り、ツヤがいいのが特徴です。

3つ目はその米が出来た年ですつや姫ですつや姫は1998年8月17日です次のはえぬきですはえぬきは1992に出来ました次のはえぬきが出来た少し前に出来たひとめぼれですひとめぼれは1991年に出来た品種ですそれよりもっと前に出来た品種がありますそれはコシヒカリですコシヒカリは1938年に出来ましたそして一番最近出来た米がありますそれは雪若丸です雪若丸は2023年に出来ましたそして僕の住む街、酒田市にぜひ来てみてください



十坂の田畑

5年1組 工藤 瑛仁

僕の住む町には、田畑があって、色々な野菜や果物を育てています。田畑のみりよくは3つあります。

1つ目は、野菜の種類が多いことです。大根や枝豆ほかにも、あさつきとかを育てていて野菜をたくさん食べたくなります。



2つ目は、お米のことです。米の種類が多くて、ひとめぼれやはえめきやふきひびきや、ゆきわかまるなどを作っていて、水が綺麗だから安心して食べられるのでとても良いです。



3つ目は、育てている果物が多いことです。いちごやさくらんぼ、砂丘メロンやぶどうを育てていて特に自分が好きないちごは酸味と甘みの相性が良くてとても美味しいです。1月から2月くらいが一番いちごが甘い時期です。ぶどうもとても美味しくて種がないぶどうがあります。ぶどうの種類でせきれいという赤いぶどうがあります。ぶどうは下側が濃く色づいていたら食べごろです。美味しい果物がたくさんあるので嬉しくなります。



ふだんから酒田のことを知っているつもりだったが、調べてみて、より酒田のみりよくを知る事ができて良かったです。ぜひ皆さんも酒田に足を運んでみてください。



私の住む十坂学区には、毎日にぎわっていると思われるいちご畑があります。なぜいちご畑はお客さんがたくさん来るのでしょうか。理由はいちご畑が持つ三つの魅力がありました。

一つ目はいちごが美味しいからです。いちご畑は特におとめ心が人気で市場から高い評価を頂いています。おとめ心は香りが良く甘みもたっぷりで酸味もあり甘味と酸味のバランスの取れた

美味しいいちごとして人気を集めています。4月～5月がおとめ心の美味しい季節でオススメです。



二つ目はたくさんのイベントがありたくさんの人が楽しめます。イベントではお盆セールや夏祭り、春祭りがあります。

他にもたくさんのイベントがあります。参加すると、とても楽しいです。



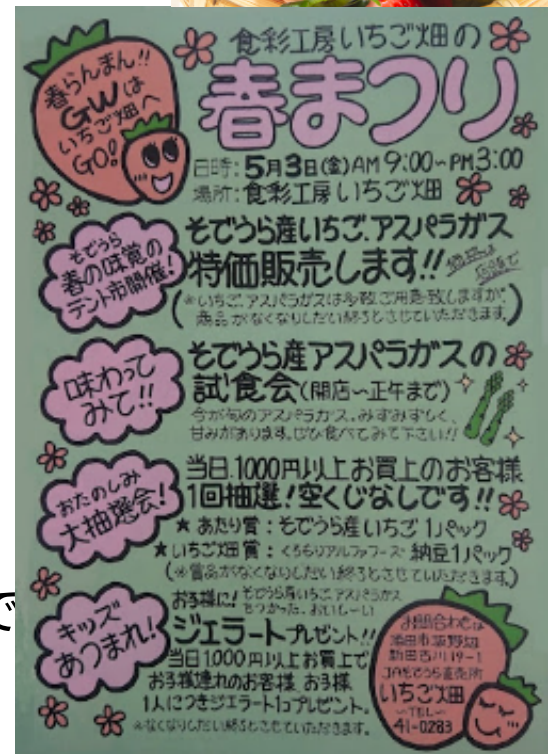
三つ目はいろいろな種類があっていろいろ楽しめるからです。

おとめ心やとちおとめ、他にもたくさん種類があるので、

いろんないちごを楽しむことができます。

普段からよく知っているつもりでも、よく調べてみたらいちご畑の良さをたくさん知れたような気がします。

いちご畑のいちごは美味しさだけではなく、イベントもいちごの種類もたくさんあるのだと思います。ぜひ、足を運んでみてください。

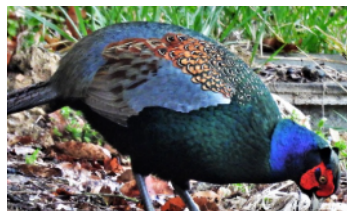


十里塚の動物

5年1組吉泉琉羽

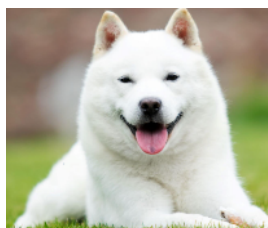
私の住む十里塚には、動物がさん住んでいます。その動物について3つの事を説明します。

まずは動物がでる場所です。十里塚には主に猫、犬、鳥、タヌキ、キツネがいます。竹やぶにはキジがでてきます。しかし、キジはあまりでてこないので、見れたらラッキーです。



林にはタヌキ、キツネ、鳥がでてきます。タヌキ、キツネは私も見たことはないので見たいです。

空き家には野良猫がいます。野良猫はよく見ます。一匹だけの子や親子で見る事も多いです。家庭では犬、猫が多いです。家庭で飼われている子たちは、みんな



幸せそうです。そのまま幸せになってほしいです。

次は、その動物についてです。猫は野良も居れば飼い猫のいます。また、野良から飼い猫になったりにします。犬は野良はいなく家庭の犬しかいません。朝、散歩している子をよく見かけます。鳥は毎日見ます。電線に止まっていたりします。

最後は、私の経験を元にした情報です。キジは初孫を通り過ぎたところの竹やぶにいます。タヌキや、キツネはそれらしきもののだけと海の近くの竹やぶで見たことがあります。こんな自然いっぱい色々な動物がいます。この記事を読んで動物がいっぱいの十里塚に足を運んでみてはいかがでしょうか？

十里塚は、十坂の中で一番広い地区です。自然や店、そして、いろいろな行事がいっぱいがあります。そのなかで大きく、三つのみりよくを伝えます。



一つ目は、自然がたくさんあることです。特に木、田、がみりよくてきです。そして田んぼでは、美味しいコメがたくさん取れます。また木は、松が多いです。自然いっぱい、自然の匂いもするので、見ていると気持ちよくなれると思います。

二つ目は、りゅうほう（ラーメン屋）のこのみりよくを伝えます。

りゅうほうのラーメンは、すごく美味しくて、メニューも色々あります。店員さんのたいおうもすごく優しいです。匂いもしてきて、もっとお腹が空いてきます。お店の中にいるだけで、笑顔になると思います。



三つ目は、行事がいっぱいあることです。はいひんかいしゅうや祭りなど、いろいろあります。みんな、交流するとしぜんに仲良くなれます。だからみんな仲が良いのです。そのおかげで街中がきれいになり、仲良くなれると思います。

このいろんなことを調べてあらためて十里塚はいいなと思いました。このように、十里塚は楽しくて良い地区だと思うので、行ってみたいとおもったらぜひ行ってみてください。

僕の十坂地域では果物が有名です。とても美味しいです。そして果物が美味しいのはなぜなのでしょう。その美味しい理由は次の三つの魅力にあります。

一つ目は果物の季節と種類です。果物は季節によって種類が違うので季節が変わるごとにいろいろな種類の果物の味を味わえます。果物の季節と種類です。いちご→春。メロン、ぶどう、桃、スイカ→夏。ぶどう、かき、なし→秋。ゆず、みかん→冬。です。



二つ目は果物の歴史です。昔は果物にも歴史がありました。昔、一番初めに植えたのがかきでかきが上手にできるようになったので他の果物ぶどう、桃、なしも植えるようになりました。ですがそこは砂丘地だったので水がないと育ちませんでした。そのために地下水を電気で組み上げ作物に水をかけ育つようになりました。そしてその果物もうまく育つようになったので他の果物いちご、スイカ、メロンも育てるようになりいろいろな果物が十坂地区の特産品になったのです。



三つ目はいちご畑です。いちご畑ではいろいろな野菜や果物が安く売っています。さらにいちご畑では季節ごとにイベントをやっています。7月→メロン祭り、11月→かき祭りなどがやっています。果物や野菜が美味しいのは農家の人が一つ一つていねいに果物や野菜を育てているからだと思います。

このように僕たちの地域にはたくさんの果物や野菜があり栄養や美味しさもたっぷりあるのでぜひ来てみてください。

飯森山公園の良さ

5年1組 佐藤凜汰

僕が今暮らしている下坂地区には、飯森山公園という場所があり、自然いっぱい、落ち着けるいい場所です。それについて、紹介します。

まず1つ目は、自然についてです。

湖があり、広い花壇があり、他にも、たくさん木や植物があり、自然がすごく多いです。なので、自然と触れ合える良い場所です。



飯森山公園には、自然の他にも有名な建物が2つがあります。

1つ目は、「土門けん記念館」です。ここでは土門けんさんが取ってきた写真や、写真展の写真が見れます。

2つ目は、「国体記念体育館」です。ここでは、たくさんのスポーツをすることができます。



自動販売機があり、そこで飲み物を買えるので、飲み物が無くなっても、そこで買えます。



飯森山公園には、名前の通り、山があります。ここにはまず、冒険広場という場所があります。ここでは、ローラー滑り台、色んな形の滑り台が集まった遊具、海賊船の遊具、ターザンロープなどの遊具があります。



もう一つ、展望台があります。

ここまでは、歩いて行くので、ウォーキングにもいいです。降りたところには、菖蒲園があります。5月頃には、花が見頃です。ここにもぜひ行ってみてください。



皆さん、飯森山公園について知ってもらえましたか。飯森山公園には、他にもたくさんの魅力があります。なので、皆さんも、飯森山公園に行って魅力を堪能して見てください。

私が住む地域の字村東山南地内の海辺には風車が三基あります。
運転開始は令和三年四月一日でした。



その風車について説明します。

1つ目は高さ、発電出力についてです。
風車は一基あたり約 2300kW 発電することができます。三基合わせて 6900kW です。こんなに発電することができるのは風車が大きければ大きいほど発電出力が上がるからだと思います。

全高は約 119m あり、ブレードは約 82m あります。

2つ目は取り組みについてです。
酒田市が位置する庄内平野は風が強いです。特に冬季間は北西の季節風が吹きます。
その地域特性を活かして国が目指す

『2050年カーボンニュートラル実現』
に貢献するため風力発電事業に取り組んでいます。

地球はそんな危機に陥っているのでしょうか。
2050年には間に合うのでしょうか。

このように風車は発電するためだったり、
『2050年カーボンニュートラル』を貢献するためだったりするのでしょう。
風車にはいろいろな取り組みをしているのです。みなさんもぜひ調べたり、実際に見に来てみたりしてください。



僕たちの住む街の三つのメロン

五年一組 佐藤 一心

僕の住む町には主に、庄内砂丘で作られている3つのメロンがあります。3つのメロンの種類はアンデスメロン、鶴姫メロン、鶴姫レッドの3つがあります。どれも美味しくて食べごたえのあるメロンだと思いました。なぜ庄内砂丘などで、たくさんメロンが取れるのでしょうか。

理由は土な水分量が多いとメロンが吸収して糖度が下がってしまうので、水はけの良い砂丘地はメロンの栽培に適しています。庄内浜の近辺は、水はけの良い砂丘地、銘酒の源にもなる良質な地下水、日中の強い日差しと涼しさ、とメロンを栽培するのに好条件を備えているため、甘みが凝縮された甘いメロンができます。次に3つのメロンについて紹介します。

1つ目はアンデスメロンです。

アンデスメロンは果肉が黄緑色で甘みが強く、多汁です。アンデスメロンは生産者は作って安心、流通は売って安心、消費者は買って安心という思いから安心ですを略してアンデスメロンにしたそうです。

2つ目は鶴姫メロンです。

鶴姫めろんは、スッキリとした爽やかな甘さと、後味の良さ、肉質がしっかりして日持ちが良いのが鶴姫メロンの良いところです。

3つ目は鶴姫レッドです。

鶴姫レッドは鮮やかなオレンジ色の果肉で

